

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2019-3002	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	試料:なし 情報:いわてペースライン調査全員の情報(基本情報(年齢、性別、BMI、既往歴、治療中疾患、問診)、健康診査情報(身長、体重、血液検査、IMT、骨密度))	
主たる研究機関	岩手医科大学 外科学講座			分担 研究機関	いわてメディカルメガバンク機構	
研究題目	IMT肥厚および骨塩量に及ぼす肥満症の影響			研究期間	令和2年3月末日まで	
実施責任者	梅邑 晃	所属	岩手医科大学 外科学講座		職位	助教
研究目的と意義	肥満症はメタボリックシンドロームを介して様々な関連疾患を誘発し、生命予後を短縮することが知られている。IMTの肥厚は血管イベントの独立予後因子であることは明白だが、IMTの肥厚をスクリーニングする方法は現時点ではない。骨塩量も病的骨折の独立予後因子であるが、肥満症と関連は物理的な関節の摩耗を除いてスクリーニングすることができない。					
研究計画概要	本研究は、IMM計画の症例から内臓脂肪測定、頸動脈エコーおよび骨塩量測定を施行された一般住民を抽出し、身体的背景と一般検診項目の中から有意に相関する因子がないかを検討する。肥満度との関連については、BMI別に評価を行いそれぞれについて高リスクと判断されるカットオフラインを定めることを目的とする。					
期待される成果	本研究は、大規模コホートから肥満度とIMT肥厚・骨塩量の関係を割り出すもので前例がなく、IMMの追跡調査により予後も明らかになるため新たな知見となると考えられる。学術的成果は然るべき国内および国際学会で発表するとともに、英語論文化して high impact factor journal から順次投稿する。研究成果の帰属は、いわてメディカルメガバンク機構の規則に従う。					
これまでの倫理 審査等の経過	承認番号:H28-47・岩手医科大学倫理委員会 承認課題名:「食欲中枢異常による難治性高度肥満症の実態調査」 本研究計画が倫理審査承認済み研究内容の一部と認められるため平成30年12月改定承認。					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	全てのファイルは患者情報が特定されない図表のみを申請承認後にのみ持ち出し可能となるため、一切の外部への情報漏洩はないものと考えている。					
その他特記事項	特になし。					
(事務局使用欄) * 公開日	令和1年8月5日					
* 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 019-651-5110(5508/5509)						